



■フォトエッセイ■

シアヌークビルって一体どこですか？

写真・文 田中清泰
Kiyoyasu Tanaka

ホテルから望むオートレス2ビーチ

日本を旅行すると、どこから来たのか聞かれる。「カンボジアに住んでいて一時帰国です」、と答える。「アンコールワットとか地雷とかね」、と返ってくる。日本人が持つカンボジアのイメージが分かり、反応があるだけ嬉しい。けれど、「シアヌークビル」と聞くと、「一体どこですか？」、となりそうだ。

●シアヌークビルの場所

シアヌークビルは、カンボジアの南西部にある。シアヌークビル州の南側は海に面しており、沖合には大小の島々が点在している。緑豊かな森も残り、自然の宝庫である。首都プノンペンからは、国道4号線を通り、約230キロの距離がある。地図のアプリで経路を検索すると、4時間15分の時間で着くと表示された。この時間で着けば早いと思う。プノンペンの中心部を通るだけで、渋滞で1時間はかかる。休憩を考えると、

5時間以上はかかる。新幹線が東京駅から浜松駅まで約260キロの距離を1時間半で移動するのと比べると、プノンペンからシアヌークビルへの車移動は、けっこのような長旅である。もちろんプノンペン空港からシアヌークビル空港に飛行機で移動する方法もある。

●ビーチリゾート

晴天になると、シアヌークビルのビーチには、青い海が水平線まで広がる。白い砂と青い海のコントラストに目を奪われる。夕暮れ時、空はオレンジ色に染まる。プノンペンの喧騒は遠い記憶となり、目の前にブルーとオレンジを混ぜた色が広がり、ちょっと湿った海風が心地よい。市内中心部の海岸線にはレストランが立ち並ぶ。夜になると、裸の電球がキラキラ光り、ネオンで砂浜が照らされる。東南アジアの海に来ていることを思い出す瞬間である。



オーチュティルビーチの観光客

乾季の休日になると、シアヌークビル中心部の砂浜は、観光客でいっぱいになる。カンボジア人も外国人もいる。街中にはカジノも増えている。ビーチリゾートでは静かにのんびり過ごしたい人は、オートレス2ビーチに行くといい。大人な欧米人の観光客が好む、少し離れた場所にある。こじんまりだけど、お洒落なブティックホテルとレストラン。ビーチは遠浅で、透き通った海を遠くまで歩きたくなる。これからもこのまま静かであって欲しいと、プノンペンの知人はみんないう。けれど、みんなこのビーチに行っている。



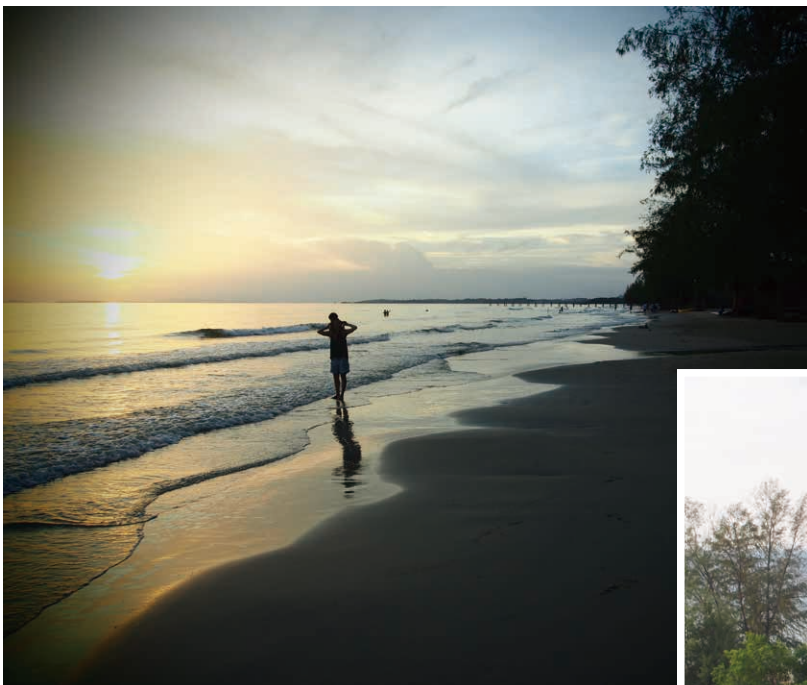
オーチュティルビーチの黄昏時

●旅の土産話

旅にはトラブルがつきものである。しかし筆者は海外出張でほとんどトラブルにあったことがない。カンボジアを除いて。

カンボジア行きの飛行機が大雪で遅延する。機内で高熱を出す。シェムリアップ空港で荷物が出てこない。宿泊先のホテルで火事が起こったこともある。カンボジアの旅はなにか起きる。事件を期待している同僚の研究者から、「次の旅はいつ?」と、にやにや聞かれるようになった。

カンボジアに赴任してから、そんな記憶も遠い過去となった。晴天に恵まれた日、シアヌークビルのホテルに着いた。ワクワクした気分で、海を望むベランダに一歩でてみる。海のパノラマ景色を見渡すと、もやもやした煙が目に入る。「バーベキューの煙だろうか?」。騒々しい声が聞こえてくる。はっとした瞬間、火柱がぼっと上がった。そう、また火事



オートレス2ビーチの黄昏時



ホテルから見た火事



火事後に倒れるパラソル

に出くわしたのである。炎は強い風に吹かれ、ますます勢いを増していく。少し時間が経った後、消防車が到着した。けれど、遠くまで水が届いてない。整備不良、訓練不足、なにが原因かは分からない。カンボジアの危機対応能力は、自然災害の多い日本に住む日本人から見ると、不安になることが多い。

●ロンサムレム島

ビーチリゾートの話が続ける。シアヌークビルの場合には、自然豊かな離島がいくつもある。スピードフェリーに1時間30分乗ると、ロンサムレム島は白い砂浜



ロンサムレム島のビーチ

と透き通った海で旅人を出迎えてくれる。カンボジア人の知人によると、この島は軍隊の駐屯地で、フランス植民地時代の見張り台が残っている。兵士やその家族、バンガローの従業員が住んでいる。小さい子どものために小学校もある。生活用水は山からパイプで引いてくる。主食のコメはシアヌークビルから輸送するが、カニやエビなど海の恵みが豊富にある。

この島を訪れる外国人観光客は、透き通る海でシュノーケリングを楽しんでいる。海のない土地に住んでいる人ほど、きれいな海を楽しみにする。この島を訪れるカンボジア人観光客は、家族や友人と写真撮影を楽しむ。もっぱら食事とおしゃべりをして過ごす。彼らはあまりシュノーケリングをしないと聞いた。カンボジア人は泳げない人が多いことをふと思い出す。日本とは違い、カンボジアの学校に水泳の授業はないのである。

●国際輸送の物流拠点

シアヌークビルは、実はカンボジア経済を支える重要な場所でもある。洋服や靴などの縫製品生産は、カンボジアの基幹産業である。中国や韓国などから布を輸入して、カンボジア人労働者が縫製加工を行う。そして、アメリカやヨーロッパに輸出する。縫製工場はプノンペン周辺に多く



ロンサムレム島の風景



ロンサムレム島の兵隊駐屯軍No.4

立地している。完成した縫製品は国道4号線を通って、シアヌークビル港に運ばれる。目立った工業品の輸出がないカンボジアにとって、この港から輸出される縫製品は、経済の生命線といえる。

シアヌークビルには、カンボジアでは珍しい鉄道と駅舎もある。プノンペンから線路が敷設されており、最近やっと旅客鉄道が開始された。プノンペンからシアヌークビルまで約8時間かかると聞いた。車窓風景を楽しむには、長すぎる。プノンペンのマッサージ店で、「ヘッドスパ3時間コース」と見たのを思い出す。長すぎる。

●これからの反応

シアヌークビルと聞いて、「ビーチリゾートと物流拠点ね」と反応があれば、望外の喜びである。くれぐれも、「火事あったとこね」、とならないことを祈るばかりだ。



ロンサムレム島に住む人の住居



ロンサムレム島の学校入口

たなか きよやす／アジア経済研究所 在プノンペン海外派遣員

2015年12月～現在まで、カンボジアの王立プノンペン大学開発学部にて客員教授として赴任。大学院で国際経済学と統計プログラムを教える。趣味はスイミングとテニス。



鉄道のシアヌークビル駅



シアヌークビル駅のホーム